

# 大規模災害に備えて

## 奈良県での水害・土砂災害等に備えた(仮称)緊急防災対策の検討

平成30年7月豪雨では、本県でも1人が亡くなり、西日本を中心に死者・行方不明者が200人を超える甚大な被害が発生した。

なぜ、あのような大きな被害が発生したのか。防災・減災の取組を行った地域とそうでない地域では、被害状況に差があったのか。

奈良県では、今回の豪雨災害を教訓に、奈良県での災害に対する備えを着実に実施する必要があると考えており、現在、(仮称)緊急防災対策の検討を始めています。

### (仮称)緊急防災対策(フレーム案)

#### 1. **死者**をなくすために

- ① どこでどのように亡くなったのか
- ② どのように防げるのか
- ③ 奈良県での対策

#### 2. **住家**の被害発生を防止

- ① どこでどのように被害が発生したのか
- ② どのように防げるのか
- ③ 奈良県での対策

#### 3. さらに心得るべき点

- ① 避難行動
- ② 報道体制
- ③ 受援支援体制

#### 今後のスケジュール

- ・9月中を目途に対策(案)をとりまとめ
- ・検討会議の開催
- ・次回(11月)奈良県・市町村長サミットにて承認